

別表 2

ワクチンの副作用被害救済（障害・死亡）状況の比較

2019年5月末日現在

1 HPVワクチンの障害・死亡認定状況 *1

HPVワクチン	障害	43		
	死亡	0		
	合計	43	100万人あたり認定数	12.610

これまでの実施人員合計
3,410,000

2 主要定期接種ワクチンの障害・死亡認定状況(H17~H25) *1 *2

ポリオ	障害	26		
	死亡	1		
	合計	27	100万人あたり認定数	2.848

H17~25 実施人員合計
9,481,483

(DPT-IPV(不活化ポリオを含む四種混合ワクチン)の実施数は考慮していない)

日本脳炎	障害	17		
	死亡	2		
	合計	19	100万人あたり認定数	2.377

H17~25 実施人員合計
7,994,748

DPT	障害	7		
	死亡	3		
	合計	10	100万人あたり認定数	1.013

H17~25 実施人員合計
9,875,768

(DPT-IPVの実施数は考慮していない。DP被害数1人は加えていない)

麻しん	障害	5		
	死亡	2		
	合計	7	100万人あたり認定数	0.740

H17~25 実施人員合計
9,462,568

(MR被害数5人, MMR6人は加えていない)

風しん	障害	2		
	死亡	0		
	合計	2	100万人あたり認定数	0.198

H17~25 実施人員合計
10,082,994

(MR被害数5人, MMR6人は加えていない)

BCG	障害	1		
	死亡	1		
	合計	2	100万人あたり認定数	0.223

H17~25 実施人員合計
8,965,817

インフルエンザ	障害	2		
	死亡	1		
	合計	3	100万人あたり認定数	0.032

H17~25 実施人員合計
92,970,014

合計の平均 **1.061**

*1 各救済決定内容は、任意接種(緊急促進事業)はPMDA(<https://www.pmda.go.jp/relief-services/adr-sufferers/0036.html>), 定期接種は厚労省疾病・障害認定審査会感染症・予防接種審査分科会(https://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/shingi-shippei_127696.html)の各ホームページで公開。

*2 上記予防接種審査分科会では、平成17年度から(正確には16年度の途中から)の具体的決定内容が公開。短期では数値の大きな変動可能性があることから、HPVワクチンが定期接種化された平成25年度まで9年度の定期接種ワクチンの救済状況の平均を算出。